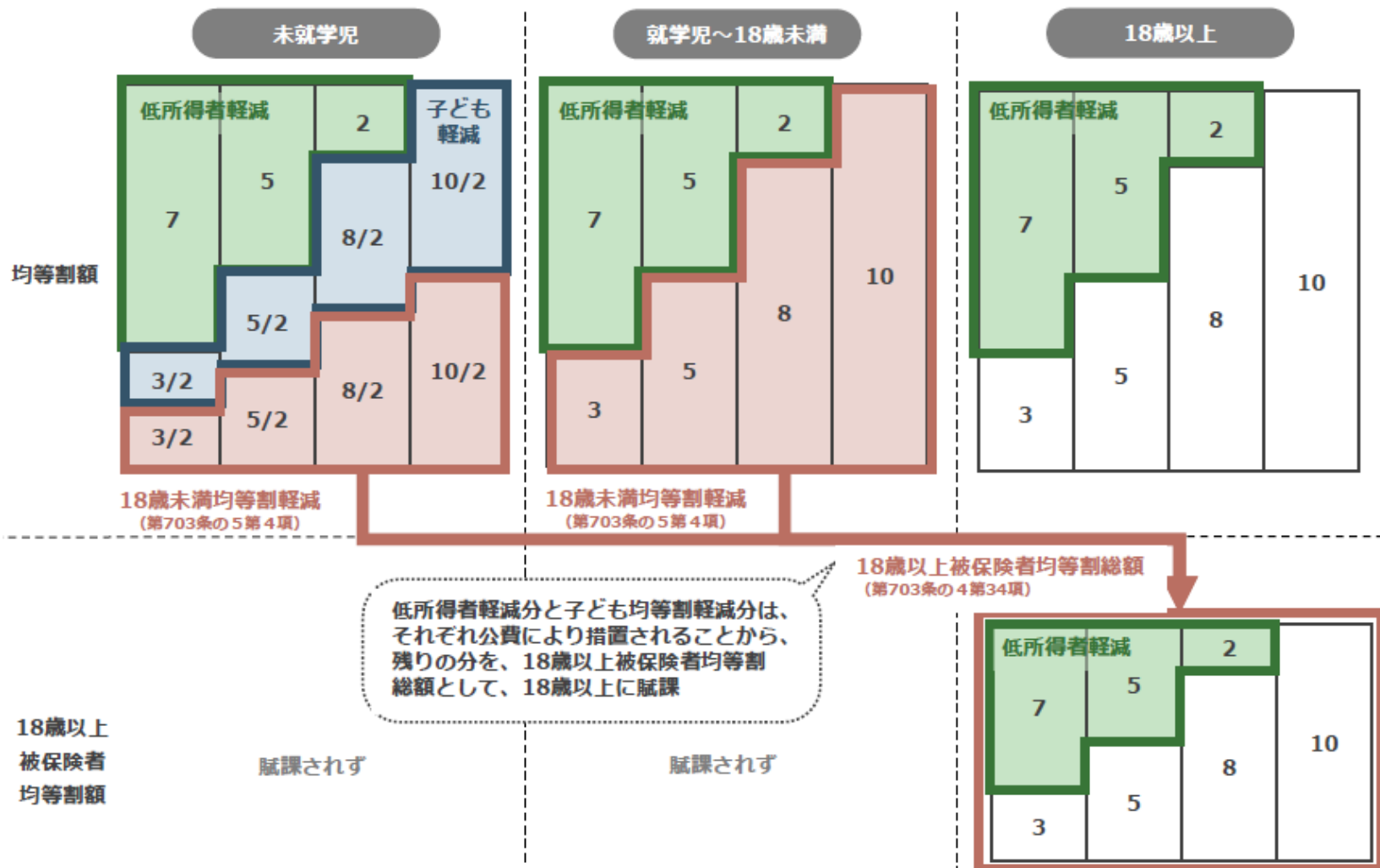


子ども・子育て支援納付金分の均等割及び18歳以上均等割のイメージ



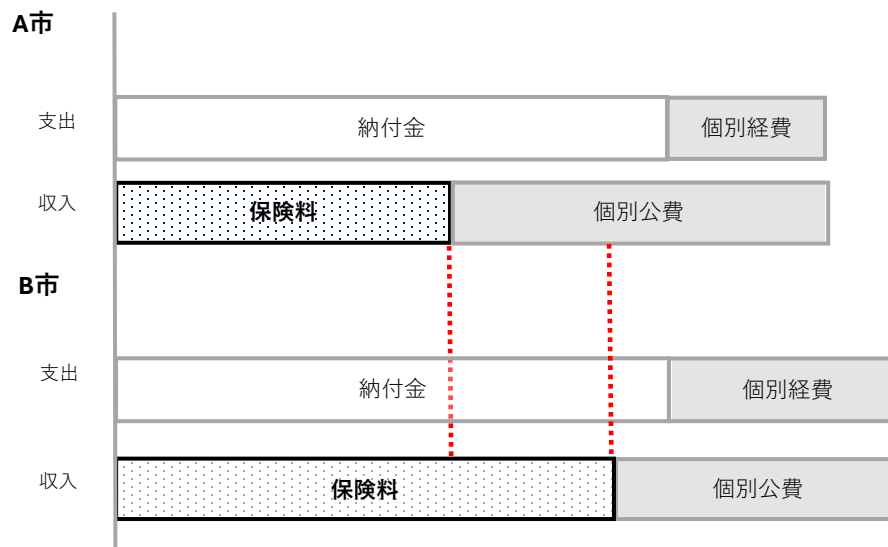
納付金算定における個別公費・個別経費の相互扶助について（1）

兵庫県では市町ごとに異なる収入（個別公費）・支出（個別経費）を県全体の収入・支出として扱うこと（相互扶助）で納付金が増える市町の被保険者の保険料負担が急激な上昇とならないよう、令和5年度から20%ずつ5年をかけて段階的に個別公費・個別経費の相互扶助を進めることで納付金を調整することとしている。

（参考）対象個別公費・個別経費

個別公費	個別経費
保険者努力支援制度	保健事業
特定健診負担金	直診勘定繰出金
県2号繰入金	特定健診に要する費用
国特別調整交付金	条例減免
地方単独事業による波及増繰入金	任意給付

（参考）個別公費・経費の違いによる保険料の違い



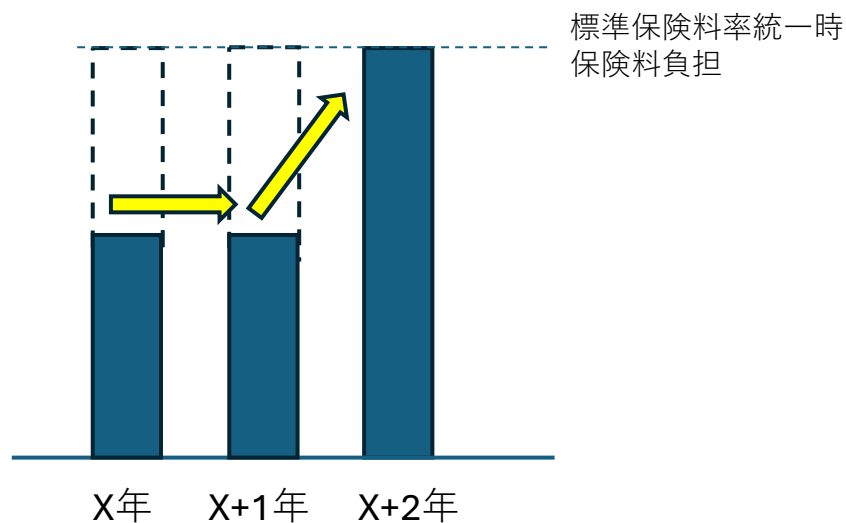
- ・市町の所得や収納率が同じであれば、納付金の水準も同じ
 - ・支出（個別経費）や収入（個別公費）の水準は市町ごとに異なる
- ⇒市町間で被保険者から集めるべき保険料水準に差が生じている

納付金算定における個別公費・個別経費の相互扶助について（2）

相互扶助のイメージ（相互扶助を行うことで納付金が増える市町の例）

単年で反映

納付金の急激な上昇
⇒被保険者の急激な負担増



複数年で反映

納付金の段階的な上昇
⇒計画的な設定が可能
⇒被保険者の負担に配慮

